



◆ 顧問・関与先様各位 「ろーどニュース」1月号を配信いたします。今月もよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

開業の年となりました旧年中は、皆様より本当に温かなご支援を賜りました。お陰をもちまして、2019年を清々しい気持ちで迎えられましたこと、心より深く御礼申し上げます。

当事務所において2019年は「忍耐」の年であると捉えております。初心として掲げた基本理念「今日も歩きたくなる道づくり」を忘れることなく、日々精進を重ねてまいりたいと存じます。

さて、本年は顧問先様の相談業務及び労務管理サポート業務に加えて、研修講師としての登壇機会を多数頂いております。以下に実施予定の研修メニューをご紹介しますので、ご興味がありましたらお気軽にお問い合わせください。

<https://office-road.jp/inquiry/>

- ・新入社員研修 [社会人としての心構え、自己理解と他者理解、チームで働く意義]
- ・自律型リーダー研修 [人に対する自律、課題に対する自律、自分に対する自律]
- ・コミュニケーション研修 [「きくこと」、「伝えること」、非言語情報]
- ・タイムマネジメント研修 [時間の性質、時間管理のノウハウ、スタイルを見直す]
- ・安全衛生・労務研修 [労働災害、ワークライフバランス、会社のルール]
- ・これってパワハラ? みんなで考える職場づくりセミナー

それでは、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



第5回 今月の「働くみんなのおしゃべりナイト」

毎月第一水曜日に「遊び、学び、つながる。」をテーマに、フジノヤマカフェ (<http://fujinoyamacafe.com/>) にて、若手ビジネスマンが集まるイベントを開催しています。



◇今月の楽習プログラム

- (1) 地域でチャレンジする企業紹介
富士市大淵に本社を構える株式会社かつまたの取組紹介
<http://www.katsu-p.com/top.html>
- (2) ゲストスピーカー
佐藤 航さん/清水銀行富士支店
 - ・清水銀行創立90年の歩み
 - ・これからの時代を見据えた資産運用及び生活費節約術
 - ・日頃のお金の使い方の癖を知る
～セルフチェックシート～



<https://www.shimizubank.co.jp/> (清水銀行)

働き方改革の準備/先手必勝です

本年4月1日より施行される各法案に向けた対応が求められています。特に大きな影響を及ぼすのが「時間外労働の上限制限」であり、この制度の施行日は大企業が2019年4月1日、中小企業が2020年4月1日、自動車運転業・建設業・医師が2024年4月1日となっています。上限を超えた場合には雇用主に罰則も科せられます。まったなしの時期が到来しています。早期の対応が求められます。

【働き方改革関連法の概要】

項目	内容	施行時期
時間外労働の上限制限	原則：月45時間、年360時間 例外：年720時間、月100時間未満、複数月80時間	大企業：2019年4月 中小企業：2020年4月
有給休暇取得義務化	有給休暇が10日以上ある労働者について、うち5日の取得を企業に義務付け	2019年4月
勤務間インターバル	前日の就業時間と当日の就業時間の間に一定の休息時間の確保について、事業主の努力義務	2019年4月
割増賃金率の猶予措置廃止	月60時間を超える時間外労働に係る割増賃金率（50%以上）について、中小企業への猶予措置廃止	中小企業：2023年4月
同一労働同一賃金	正社員と非正規労働者の待遇に不合理な差をつけることを禁止	大企業：2020年4月 中小企業：2021年4月
高度プロフェッショナル制度の創設	高収入で専門的知識を持った労働者について、本人の同意を条件に労働時間規制を外す。勤務時間に縛られずに働ける代わりに、残業代や深夜・休日手当が支払われない。	2019年4月



「致知/12月号」から学ぶ人間学

人間学とは自分は何のために生きているのか。なぜ働くのか。そのような答えのない問いを繰り返し、自らの思考・感情・行動を一致させていく学問ではないかと私は考えます。人間学を学ぶ購読紙「致知」より、毎月の学びを共有させていただきます。

<https://www.chichi.co.jp/info/> (致知)



【今月の学び/国家百年の計】

大事を成すには百年先の世の中を見通すほどの計画が必要。その計画があれば、目の前のすべきことに迷うことはないだろう。

(感想)

実際に100年先を考えてみて分かったことは10年先さえも全く描けないという事実です。松下幸之助氏が「松下政経塾は国家百年の計を毎年立てるといふ具合にならないといけぬ。」と仰っていることを踏まえると、いかに自分の器が小さいかということを感じました。

いつも目の前のことに精一杯なので、なかなか先のことを真剣に考える機会はありません。だからこそ、先のことを考えるトレーニングを行い、それを習慣化することが大切だと思います。ではそのトレーニング方法とは何なのかと深掘していくと、真っ先に脳裏に浮かんだのが大河ドラマでした。大河ドラマの主人公に描かれる人物は将来の日本のことを考えて行動しており、それが人の心を打つのだと思います。まずはその先人の歩みを学ぶことから始めます。

近々お子様が生まれる男性社員様はいますか？

国では、男性の育児休業取得率を2020年までに13%とする目標が掲げられており、厚生労働省では男性の育児休業取得を推進しています。現在は5.14% (2017年度) です。

男性社員様が、お子様が生まれてから8週間以内に5日間の育児休業(無給または有給)を取得する場合、両立支援の助成金が支給されます。会社様も社員様も嬉しい助成金です。

【参考】

1人目の育児休業者 57万円(72万円)

2人目の育児休業者 14.25万円(18万円)

() は生産性要件に該当する企業の場合



お気軽にご相談ください。受給手順のご案内をいたします。

<https://office-road.jp/inquiry/>



助成金を活用し、新入社員研修の準備をしましょう

人材開発支援助成金とは、事業主様等が雇用する従業員様を対象とし、職務に関連した知識や技能を習得させるための訓練や研修を計画的に行った場合に、訓練経費や賃金の一部を助成する制度です。様々なコースがありますので、ご相談いただけましたら、会社様のニーズに適合するコースやプランをご提案いたします。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

昨今の新卒の売り手市場を鑑みると、新入社員や若手社員の職場定着は会社にとって重要な課題です。

特に新入社員研修は、その後の社会人としてのモチベーションや仕事の方法を決定づける重要な役割を果たします。

助成金を活用し、計画的に準備されることをお勧めします。

【新入社員研修プログラム例】

- ・ 基本的な心構え / 学生と社会人の違い
- ・ 効率的な仕事の進め方 / チャレンジ精神
- ・ 身だしなみ / 正しい言葉遣い
- ・ 報告、連絡、相談 / 訪問のマナー
- ・ メールの書き方 / 電話対応の方法
- ・ 接客対応 / 名刺の扱い方
- ・ PDCAの実践方法 / 目標の策定 など



体育会系社労士としてご紹介頂きました

ご縁を頂き、躍進企業応援マガジンCOMPANY TANK 2019年1月号にて「体育会系社労士」としてご紹介頂きました。宜しければ記事をご覧ください。

<http://www.companytank.jp/interview/201901/14023/>



顧客の些細な悩みに迅速に対応
挑戦を続ける体育会系社労士

ろーどの弦き「一般社団法人F-designを設立！」

昨年11月に一般社団法人F-design(エフデザイン)というチームを組織し、代表理事に就任させて頂きました。元旦にプレサイトを公開いたしましたので、宜しければぜひご覧ください。

<https://f-design.or.jp/> (一社F-designプレサイト)

このチームの志は「故郷を大事にする人づくり」。綺麗な言葉で述べれば地域の人材育成ということになります。少し補足させて頂くと、これまでの人生経験を踏まえ、良き人材は必ず故郷を大事にしていると確信しています。現世を生きる方も然り、歴史上の人物も然りです。私は、その要因を故郷というマチを分解するとヒトに辿り着くと考えており、故郷を大切にすることは、そこで共に暮らした先祖、両親、友達、そして自分自身を大切にすることに繋がるからだ、私は理解をしています。

そして、「故郷を大事にする人づくり」という崇高なテーマに取り組むわけですが、私たちが担うべき役割は“遊び”であると心得ます。リアルな遊びには学びがつまっています。スマホに負けない遊びを企画し、高校生、大学生、若手ビジネスマン、企業マンや行政マン、東京で働く同郷の仲間等を巻き込み、共にリアルに遊ぶことを通して「故郷を大事にする人づくり」に貢献してまいりたいと存じます。

基本理念は、富士山が微笑み、みんなが関わりたくなる“まちづくり”

行動指針は、話し合うことで生まれたアイディアに自信を持ちチャレンジしよう！

共感してくれた仲間達と共に、まずは一つひとつの事業を着実に実行していこうと思います。

一般社団法人F-designの取組を応援して頂けたら嬉しいです。よろしく願い申し上げます。

